

若者の「死にたい」にどう対応するか？

開催日 2018年3月9日(金)

場所 日本財団2階 大会議室

参加費 3,000円

研修内容

- 第1部 若者の自殺の現状を知る**
臨床に生かすための自殺の統計と現状
自殺に関する統計的データ
年間自殺者数/自殺率/致死率と性別/未遂率の性差
年齢・職業・曜日・配偶者・遺書の有無/国際比較等
- 第2部 どのように自殺のリスクを測るのか**
自殺の危険因子と理解とリスクアセスメントの方法
自殺の危険因子と偽陰性
自殺に追いつめられる心理
- 第3部 事例を通じたケースの理解**
「死にたい」と訴える若者の理解とアセスメント
- 第4部 自殺の危機にある人にどう関わるか**
危機介入方法のポイント
支援者の逆転移
チームによる支援/バーンアウトの予防

開催詳細

- 時間** 2018年3月9日(金) 開場 12:45
研修 13:00~17:00
- アクセス** 日本財団ビル 2階 大会議室
東京都港区赤坂 1-2-2
(最寄駅) 東京メトロ 虎ノ門駅・溜池山王駅
国会議事堂前駅
- 対象** 対人支援・若者支援を行っている方
NPO・社会福祉法人等で対人支援をされている方
ソーシャルワーカー・カウンセラーの方
医療関係者の方 等

講師

伊藤次郎

NPO法人 OVA 代表理事
精神保健福祉士
江戸川区自殺未遂者支援会議スーパーバイザー
新宿区自殺対策会議若者支援対策専門部会委員
若者自殺対策全国ネットワーク発起人/共同代表

【略歴】

学習院大学法学科卒業。EAPプロバイダーを経て精神保健福祉士・産業カウンセラーなどの資格取得後、精神科にて復職支援(リワーク)に従事。

2013年マーケティングの手法で自殺ハイリスクの若者にリーチする世界的に前例のない「インターネット・ゲートキーパー」の手法を開発実施、2014年NPO法人OVAを設立。2016年日本財団ソーシャルイノベーターに選出される。

【メディア掲載】

朝日新聞「ひと」、NHK「ハートネット」など掲載多数。

【講習・研修実績】

韓国水原市自殺予防センター(アジュ大学)・東京大学大学院・明治大学大学院・北海道立精神保健福祉センター・東京都ほか 教育機関・行政機関・民間企業で多数

清水幸恵

NPO法人 OVA シニアコンサルタント(相談員)
臨床心理士

【略歴】

東京学芸大学大学院卒業。精神科単科病院にて、心理士にて勤務。慢性期病棟、急性期治療病棟、スーパー救急病棟などを担当。心理検査、個人面接から、心理教育、SST、回想法、家族SST等のグループの運営にかかわる。また、ひきこもりの若者の居場所や社会参加グループなどにもかかわり、10年ほど勤務した。2014年9月よりOVAの相談員(シニアコンサルタント)として活動。

お申し込み方法

- メール info@ova-japan.org
下記の必要事項をメールしてください
件名「3/9 研修申し込み」
・お名前
・ご所属
・メールアドレス

助成

日本財団

主催

特定非営利活動法人 OVA
東京都新宿区高田馬場 4-1-7-501
TEL 03-5358-9580
担当: 土田

